

鳥取港振興会 ニュース

港湾だより67号

(平成29年3月発行)

鳥取港にパームヤシ殻初輸入
(10月3日)



INDEX

- 平成28年鳥取港取扱貨物量
- 平成29年度鳥取港関係予算
- 「鳥取かにフェスタ2016」盛会
- 他港視察(高知港・宇野港)
- 鳥取港にパームヤシ殻が初輸入
- 山陰近畿自動車道整備推進決起大会
- 各種会議の参加報告
- 第10期展示は「砂で世界旅行 アメリカ編」
- 外国貿易支援制度(御案内)

発行：鳥取港振興会

平成28年(2016年)鳥取港港湾統計年報【速報値】

平成28年の鳥取港の貨物取扱量は、716,539トンで、前年と比べて7,258トンの減(対前年比約1%減)となりました。

移出入貨物は、公共土木工事における海岸浸食対策のために使用する石材や公共水産事業における沖合の漁場整備のために使用する漁礁ブロック等の移出が減少したことにより、672,458トンと前年比4.6%減少しました。

輸出入貨物は、前年から開始した原木の輸出増加(9,063トン、前年比約4.3倍の増)や本年から新規貨物として、木質バイオマスボイラー用燃料としてPKS(パームヤシ殻)の輸入(26,168トン)が開始されたことにより、44,081トン(前年比2.37倍の増)と前年に比べ大きく増加しました。

(単位：トン)

内 買					外 買				
	品種別	26年	27年	28年		品種別	26年	27年	28年
移 出	石材	17,192	14,142	—	輸 出	原木	—	2,119	9,063
	砂利・砂(製鋼スラグ)	1,500	1,520	—		—	—	—	
	水	3,988	3,305	3,510		—	—	—	
	窯業品	2,852	8,820	—		—	—	—	
	その他製造工業品 (鋼製魚礁)	—	—	864		—	—	—	
	重油	1,684	1,601	1,606		—	—	—	
	その他品種	11	16	26		—	—	—	
	移出計	27,227	29,404	6,006		輸出計	0	2,119	9,063
移 入	砂利・砂 (うち製鋼スラグ)	396,017 (284,837)	399,360 (265,290)	402,760 (305,940)	輸 入	化学薬品	11,700	16,435	8,850
	石灰石	134,200	163,200	162,870		石材	10,045	—	—
	セメント	63,500	68,350	70,100		動植物性製造飼料(PKS)	—	—	26,168
	石材	10,009	13,910	—		—	—	—	
	重油	28,232	27,804	27,803		—	—	—	
	その他品種	3,292	3,215	2,919		—	—	—	
	移入計	635,250	675,839	666,452		輸入計	21,745	16,435	35,018
移出入計	662,477	705,243	672,458	輸出入計	21,745	18,554	44,081		

	26年	27年	28年
内買外買計	684,222	723,797	716,539

平成29年度鳥取港関係予算

平成29年度の鳥取港関係予算は、港湾環境整備を促進する事業内容となっております。

(単位：千円)

事業名	所在地・地区名	施設名	H29 事業費	H28 事業費
【直轄】改修(重要)	千代	防波堤(第1)(西)	100,000	325,000
【交付金】社会資本整備総合交付金等	千代		103,650	67,170
合 計			203,650	392,170

○防波堤改修は、年間を通じて安定的な荷役を確保するための静穏度向上を図る事業です。

○エプロン補修等は、既存施設の延命化のための改良・補修です。

「鳥取かにフェスタ2016」盛会

平成28年11月12日(土)、松葉がにをPRする「鳥取かにフェスタ2016」が、色彩豊かな大漁旗が飾られた鳥取県漁業協同組合荷捌所を主会場に開催されました。

当日は、トップブランド「五輝星」の展示をはじめ、新鮮な水産物の販売、飲食コーナー、毎年好評の「かに汁」の無料配付に長蛇の列ができるなど、多くの観光客や家族連れで賑わいました。



他港視察（高知港・宇野港）

他港の取組を参考にしようと、平成28年11月7日(月)に高知県高知港、翌8日(火)に岡山県宇野港を視察しました。

高知港は、太平洋に面した立地条件を活かし、国際物流、交流拠点を目指し新港の整備を進めています。高知新港は、平成10年に一部供用を開始するとともに、国際コンテナ航路は韓国釜山便が毎週2便就航するなど、取扱貨物量も順調に伸びています。

高知県の担当者からは、毎年億単位の浚渫費用が掛かっていること、高速道路料金が値下げされたこともありフェリーが減少していること、津波被害を受けない企業誘致を進めており、17mの津波でも大丈夫なよう土地を高くしていることなどを伺いました。

宇野港は、明治42年鉄道連絡船のターミナルとして竣工、翌年に宇野港が開通し同時に宇野連絡船が就航して以来、本州と四国を結ぶ連絡港としての役割を担ってきましたが、瀬戸大橋開通に伴う宇高連絡船の廃止など情勢の変化に対応するため、宇野港の再開発が進められています。

宇野港の担当者からは、取扱貨物量の大半がフェリー利用で、瀬戸大橋開通以降、宇野一高松間のフェリーの減少が続き、その影響で取扱貨物量が減少傾向となっていること、地震対策や災害により瀬戸大橋が不通となる場合の代替輸送の役割もあるため、フェリーの運航に対する支援制度を設けていることなどのお話を伺いました。
(参加者 鳥取港振興会会員等8名)



高知港関係者による説明



宇野港管理事務所の職員による説明



鳥取港にパームヤシ殻が初輸入

平成28年10月3日(月)、鳥取港で初となるパームヤシ殻が輸入されました。

輸入されたのは、三洋製紙株式会社(取締役社長井川和永氏)で、輸入されたパームヤシ殻は、自社工場内に設置されるバイオマス発電施設の燃料として使用される予定です。

今後も、継続して輸入される予定です。



山陰近畿自動車道整備推進決起大会に参加

11月24日(木)、衆議院第一議員会館に於いて開催された「山陰近畿自動車道整備推進決起大会」に関係団体として参加しました。

山陰近畿自動車道(鳥取市～京都府宮津市間120km)の早期完成を目指し、沿線3府県(鳥取、兵庫、京都)でつくる協議会と国会議員による推進大会で、当振興会からは、役員の日通運(株)鳥取支店の中山営業次長と三洋製紙(株)の花原参与に御出席いただきました。

平井鳥取県知事は、「人や物が入ってこなければ迅速な災害復旧活動はできない。一日も早くつなげてほしい。」と、県中部を襲った地震の際、支援物資の輸送など高速道路が役立った事例を紹介し、早期整備の必要性を訴えられました。

最後に要望書が国土交通省の末松国土交通副大臣に手渡された後、全員で整備推進に向けシュプレヒコールを揚げました。



全国クルーズ客船誘致連絡会設立15周年/ 神戸開港150年記念イベント クルーズシンポジウムin神戸

平成28年11月10日(木)、神戸海洋博物館多目的ホールで開催されたクルーズシンポジウムin神戸に出席しました。

国土交通省港湾局産業港湾課クルーズ振興室の石原 洋室長から「我が国のクルーズの現状と訪日クルーズ旅客500万人に向けた取組」の一例として、宮崎県日南市の油津港では、地元高校生が外国客船の寄港時に英語通訳を兼ねて勉強する観点から積極的に観光ガイドとして活躍していることを紹介されました。自分たちの町を知る機会にもなり、観光客に町の良さを知ってもらうため一生懸命頑張っているとお話がありました。



アンソニー カウフマン氏の講演



トークセッションの様子

外国クルーズ船社との商談会

鳥取港へのクルーズ客船誘致活動の一環として、平成29年2月1日(水)、広島県尾道市で開催されたウインドスタークルーズ社との商談会に参加しました。

事業開発/運航計画担当マネージャージェス・ピーターソン氏との商談では、鳥取港の概要、背後地観光、岸壁でのおもてなしなどを紹介しました。

鳥取港は、日本船2隻(にっぽん丸、ぱしふいっくびいなす)をはじめ、3万トンクラス以下のクルーズ客船の入港が可能であり、継続して誘致活動を行っています。



第10期展示は「砂で世界旅行 アメリカ編」



砂の美術館は、2006年以降、毎年テーマを変え、世界トップクラスの砂像彫刻家が繊細で存在感のある作品を創り出し、これまで350万人を超える方に来場されています。

第10期の展示テーマは「砂で世界旅行・アメリカ編」。世界に誇る大自然の絶景スポットや、州ごとに多種多様な歴史・文化を持つ個性豊かな魅力に溢れる自由の国を砂像で再現します。

幻想的、かつ繊細で圧倒的なスケールの砂像の世界をお楽しみください。

第10期展示「砂で世界旅行・アメリカ編」

<会期> 平成29年4月15日(土)
～ 平成30年1月3日(日)

<料金> 大人600円、小中高300円

外国貿易支援制度(御案内)

外国貿易(輸出入)貨物の取扱いを増やし、港湾利用を促進するため、鳥取港を利用された荷主又は輸出入者の方(以下「荷主等」という。)に、港湾荷役経費の一部補助と港湾施設使用料の減免を行います。

<支援内容>

<問い合わせ先> 鳥取港振興会事務局

(1) 港湾荷役経費の一部補助 <申込先: 鳥取港振興会>

鳥取港での港湾荷役経費の2分の1を補助します。

⇒ 補助上限額

- ① 鳥取港にとって新規貿易貨物(※2)の場合 …………… 100万円
- ② 荷主等にとって新規貿易貨物(※2)の場合[2年間] …………… 50万円
- ③ 荷主等の貿易貨物量が増加(※3)した場合 …………… 50万円
- ④ 上記①～③の該当荷主等が同一年度内に継続して輸出入(※4)を行う場合
…………… 30万円

※1. ①～③は年度内の1取引とし、併給はありません。

※2. 新規貨物の判断は、実行関税率表の分類単位で行い、過去5年間鳥取港で取扱いがない品目とします。
当該荷主等が次年度に同一品目を輸出入した場合は、②の対象とします。

※3. 貨物量が、前年度及び過去3カ年度平均実績と比較し年間500 t (又はm)以上増加した場合とします。

※4. 補助回数は、年間4回までとします。

※5. 見本品や試供品等の輸出入は対象外とします。

(2) 港湾施設使用料の減免 <申込先: 鳥取港湾事務所>

「(1) 港湾荷役経費の一部補助」の①～③の補助を受けた事業者に対して、同貿易に係る港湾施設使用料が減免されます。

- ① 岸壁使用料、荷役機械・上屋・野積場使用料を減免(最長10日間)
- ② 原木輸出における野積場の使用料は、最長30日間免除し、免除する野積場の面積の上限は6,000㎡とする



JCG 密輸(薬物・銃器)・密航
何かおかしいなと感じたら
118番
海上保安庁緊急電話番号
118番は海上保安庁緊急電話番号です。

編集後記

このたび、4月1日付で異動となり、鳥取市に戻ることになりました。

港湾業務に携わることが初めてでしたが、皆様のご理解とご協力により充実した3年間を過ごすことができました。

今後も、鳥取港の振興のため、皆さまのお力添えを賜りますようお願いいたします。
(前田)



「安全・安心な社会を目指して」
密輸情報 の提供にご協力ください!



密輸ダイヤル(24時間受付)

0120-461-961

(携帯からも利用できます)

神戸税関 境税関支署 鳥取監視署

0857-25-1115



鳥取港振興会事務局

〒680-8570

鳥取市東町1丁目220番地(県本庁舎5階)

TEL(0857)22-1836 / FAX(0857)22-1848

E-mail: tottoripor@tea.ocn.ne.jp